

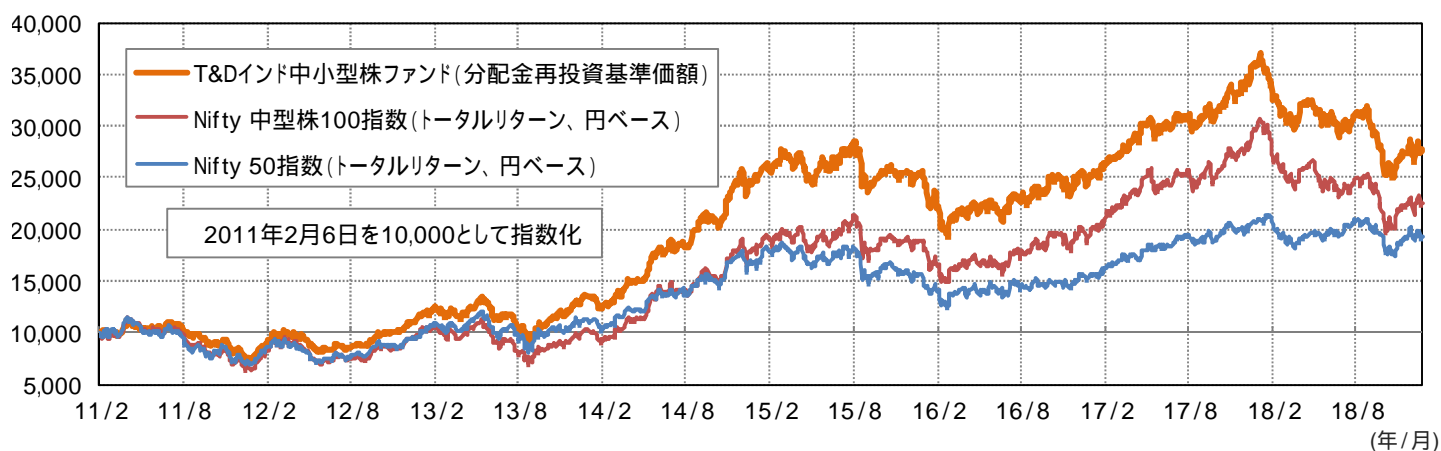


WINNER OF THE 2018  
**THOMSON REUTERS**  
**LIPPER FUND AWARDS**  
 JAPAN

4年連続で「最優秀ファンド賞」を受賞しました。  
 トムソン・ロイター  
 リッパー・ファンド・アワード・ジャパン 2018  
 株式型 インド株(評価期間5年) 「最優秀ファンド賞」受賞

## T & Dインド中小型株ファンドの運用実績

### T & Dインド中小型株ファンドとインド株式市場の推移



(Nifty中型株100指数とNifty50指数については基準価額への反映を考慮し、前営業日の値を基に算出)

期間: 2011年2月6日(ファンド設定日前日) ~ 2018年12月28日(日次)  
 出所: Bloombergのデータに基づきT&Dアセットマネジメントが作成

## 中小企業向け追加支援策によって期待されるインド中小型株式の上昇

インドでは、**国内経済の約32%を占める中小企業**に対する支援を目的とした一連の措置(新興企業に対する総額1兆インドルピーの資金援助)が昨年11月に発表されましたが、モディ首相が追加策を検討していることが今月政府関係筋より明らかとなりました。今回盛り込まれると考えられる追加支援策には、売上高の小さい**中小企業が通常よりも2%程度低い金利で資金を借り入れられる制度**などがあります。加えて、政府が**各銀行に対して中小企業向け融資枠の拡大**を要請する可能性もあるとみられています。

モディ政権は2016年1月に「スタートアップ・インド」という新興企業を育成する政策を打ち出し、起業を後押ししてきました。その結果、スタートアップ企業\*が昨年1,200社以上増えて、全体で7,000社を超えるなど、起業の勢いが加速しています。このように中小企業の成長を促進する背景には、小売業を中心に**中小企業がモディ政権にとって重要な支持基盤**であり、今年5月に控えている総選挙で政権を維持する一助と位置づけていることがあげられます。

今回を含め様々な支援策が打ち出されることで、**中小企業のビジネスが拡大し、中小型株式市場の上昇**につながることを期待されます。

\*スタートアップ企業とは、一般的にビジネスマーケットの開拓段階にあり、新しいビジネスモデルで急成長を目指す新興企業のことを指し、元々は米国のシリコンバレー(IT企業の集積地)で用いられていた言葉です。インドにあるスタートアップ企業は、5万社程度ある米国に遠く及びませんが、昨年英国の約5千社を抜き、2020年頃には1万社を超えると予想されています。

## インフレ圧力が沈静化する中、期待される金融緩和

RBI(インド準備銀行、中央銀行)は、昨年10月に開催した金融政策委員会でスタンスを「中立」から「段階的な引き締め」に変更し、先月も据え置きました。インフレ率(消費者物価指数、前年比伸び率)が近年は目標レンジ(年2%~6%)内に収まっており、**足許ではその下限水準(年2%)まで落ち着いていること**などから、早ければ**来月以降に開催される金融政策委員会でスタンスを中立に戻し、利下げが検討される可能性**が出てきているとみられています。

インドでは、昨年初から**インフレ率が低下基調**を辿ってきましたが、その主なけん引役には、**食料品・飲料の価格低下**があげられます。この食料品・飲料の価格低下には、景気循環的要因と構造的要因があると考えられます。景気循環的要因としては中央政府が国内の**穀物最低支持価格の引き上げ幅を小幅**としたことや**世界的な穀物価格の低迷**などから穀物中心にインフレ圧力が低下したこと、構造的要因としてはGST(全国一律物品・サービス税、2017年7月1日開始)の導入により**州をまたぐ輸送の効率化が向上し輸送コストの低下から食料品全体のインフレが抑制**されたことがあげられます。このうち構造的要因は持続的に食料品インフレを鎮静化させると期待されます。

加えて、原油輸入国のインドにとって、昨年後半からの**国際的な原油価格の低下もインフレ抑制**に貢献しているとみられます。

**記載のデータは過去のものであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。**

## インドの政策金利とインフレ率の推移



期間:2013年1月~2018年12月(月次)

出所:Bloombergデータに基づきT&Dアセットマネジメントが作成

## インドの項目別インフレ率と原油先物価格の推移



期間:2013年1月~2018年12月(月次)

出所:Bloombergデータに基づきT&Dアセットマネジメントが作成

インドインデックスサービシズ&プロダクツリミテッド(以下、IISL)は、明示的にも暗示的にも、本商品の所有者もしくは一般の者に対して、有価証券全般または本商品に関する投資について、またインドにおいてNifty50指数(以下、「本指数」)が市場全般のパフォーマンスに追従する能力について、何ら表明、条件付け又は保証するものではありません。IISLのT & Dアセットマネジメント株式会社に対する唯一の関係は、IISLがT & Dアセットマネジメント株式会社又は本商品に関係なく決定、作成及び計算する本指数並びにIISLの登録商標についての利用許諾を与えることです。IISLは、本指数の決定、作成及び計算において、T & Dアセットマネジメント株式会社又は本商品の所有者の要求等を考慮に入れる義務を負うものではありません。IISLは本商品の販売に関する時期、価格の決定、又は本商品を現金に換算する式の決定もしくは計算に責任を負わず、また関わっていません。IISLは、本商品の管理、マーケティング又は取引に関する義務又は責任を何ら負うものではありません。IISLは、Nifty50指数の計算及びその元になるデータの正確性や完全性を保証するものではありません。また、IISLは、本指数に含まれるいかなる誤り、欠落又は障害に対する責任を負いません。IISLは、本指数又はそれらに含まれるデータの使用により、T & Dアセットマネジメント株式会社、本商品の所有者又はその他の人や組織に生じた結果に対して、明示的にも暗示的にも保証しません。IISLは、本指数又はそれらに含まれるデータに関して、商品性の保証や適合性について何ら保証するものではないことを明示し、かつそれに関して明示もしくは暗示的保証を行いません。以上のことに関わらず、特定の、罰則的、間接的あるいは結果的な損害(利益の損失を含む)について、仮にその可能性について事前に通知されていたとしても、IISLが責任を負うことはありません。

当資料中に引用した各インデックス(指数)の商標、著作権、知的財産権およびその他一切の権利は、各インデックスの算出元に帰属します。また各インデックスの算出元は、インデックスの内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

トムソン・ロイター・リッパー・ファンド・アワードの評価の基となるトムソン・ロイター・リッパー・リーダーズのファンドに関する情報は、投資信託の売買を推奨するものではありません。トムソン・ロイター・リッパー・リーダーズが分析しているのは過去のファンドのパフォーマンスであり、過去のパフォーマンスは将来の結果を保証するものではないことにご注意ください。評価結果は、リッパーが信頼できると判断した出所からのデータおよび情報に基づいていますが、その正確性、完全性等については保証するものではありません。

当資料をご覧頂くにあたっては最終ページに記載された内容をよくお読みください。

## ファンドの投資リスクについて

### 基準価額の変動要因

ファンドの基準価額は、投資を行っている有価証券等の値動きによる影響を受けますが、これらの運用による損益は全て投資者に帰属します。したがって、ファンドは投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。なお、ファンドは預貯金とは異なります。

ファンドの基準価額の変動要因となる主なリスクは次の通りです。

株価変動リスク

為替変動リスク

カントリーリスク

流動性リスク

信用リスク

投資対象ファンドに  
係る税務リスク

### その他の留意点

ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。

インドの税制に関する留意点

分配金に関する留意点

- ・分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- ・分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- ・投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

基準価額の変動要因(リスク)は、上記に限定されるものではありません。

## ファンドの費用

### 投資者が直接的に負担する費用

購入時 購入 数 時 料	購入価額に、 <b>3.24%(税抜3.0%)</b> を上限として販売会社が個別に定める率を乗じて得た額とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
信託財産 留保額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額に <b>0.3%</b> の率を乗じて得た額を、換金時にご負担いただきます。

### 投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理 費 (信託報酬)	<p>[ファンド] 毎日、ファンドの純資産総額に<b>年1.1988%(税抜1.11%)</b>の率を乗じて得た額とします。 [投資対象とする外国投資証券] 外国投資証券の純資産総額に対し、<b>年0.83%程度</b> [実質的な負担] <b>年2.0288%(税抜1.94%)程度</b> ファンドが投資対象とする外国投資証券の運用報酬等を加味して、受益者が実質的に負担する信託報酬率について算出したものです。</p>
その他の 費用・手数料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・信託財産に係る監査費用および当該監査費用に係る消費税等に相当する金額は、受益者の負担とし、信託財産中から弁済します。</li> <li>・証券取引に伴う手数料、組入資産の保管に要する費用等は、信託財産中から弁済します。</li> <li>また、組入外国投資信託において、証券取引・オプション取引等に伴う手数料、その他ファンド運営に必要な各種費用等がかかります。</li> </ul> <p>これらの費用・手数料については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率・上限額等を示すことができません。</p>

## お申込みメモ

購入時	購入単位	販売会社が定める単位 詳しくは販売会社にお問い合わせください。
	購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
換金時	換金単位	販売会社が定める単位
	換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額から、信託財産留保額を差し引いた額
	換金代金	原則として換金申込受付日から起算して7営業日目からお支払いします。
信託期間	2021年2月10日まで (2011年2月7日設定)	
決算日	毎年2月、8月の各10日 (休業日の場合は翌営業日)	
収益分配	年2回、毎決算時に収益分配方針に基づいて収益の分配を行います。 ただし、必ず分配を行うものではありません。	
申込不可日	下記のいずれかに該当する日には、購入、換金の申込はできません。 ・ボンベイ証券取引所、ナショナル証券取引所の休場日 ・インド、モーリシャスの各銀行の休業日	

\* 上記の費用の合計額については、投資者がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

\* 詳細につきましては必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をお読みください。

## ご留意いただきたい事項

当資料はT&Dアセットマネジメントが作成した販売用資料です。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成したものです。その正確性・完全性を保証するものではありません。また、当資料で使用するデータは過去の実績もしくは表記時点での予測であり、将来の投資成果等を示唆あるいは保証するものではありません。当資料に記載された意見・見通しは表記時点での当社の判断を反映したものであり、将来の投資成果等を示唆あるいは保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。

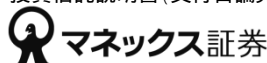
投資信託はリスクを含む商品であり、株式および公社債等値動きのある有価証券(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)に投資しますので、運用実績は市場環境等により変動します。したがって、元本が保証されているものではありません。これら運用による損益は全て投資者に帰属します。

投資信託は預貯金や保険契約と異なり、預金保険・貯金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた場合、投資者保護基金の支払対象とはなりません。

購入のお申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しますので必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断いただきますようお願い致します。投資信託説明書(交付目論見書)は販売会社にてご購入いただけます。

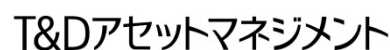
お申込みの際は、「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容をよくお読みいただき、ご自身でご判断ください。

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは



商号: マネックス証券株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号  
加入協会: 日本証券業協会 一般社団法人金融先物取引業協会  
一般社団法人日本投資顧問業協会

設定・運用は



商号: T&Dアセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第357号  
加入協会: 一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会